

評価基準

教 科	体 育	学 年	2 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくりの運動遊び 体ほぐしの運動遊び	4	みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	- 体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 - 手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。	- 友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行動と楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 - いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 - 体を動かすと気持ちがいよことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。	- 体ほぐしの運動遊びに進んで取り組んでいる。 - 順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 - 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
体づくりの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び	6	- バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力試しをしたりする、いろいろな動きを楽しむ。 - 動きを考えたり友達の考えた動きに挑戦したりする。	- 姿勢や方向を変えて、回る、寝ころぶ、起きる、座る、立つなどの動きを通して体のバランスをとる動きができる。 - 速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きができる。○用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転が	- 友達の感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒に行動と楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 - いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を考えて選んだり、楽しく動くことができる場を考えて	- 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組んでいる。 - 順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 - 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔が

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			す、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、用具に乗るなどの動きができる。 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどをしたり、力比べをしたりするなどの動きができる。	選んだりしている。 - 友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 - 用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	あるかなどの場の安全に気を付けている。
器械・器具を使っの運動遊び 固定施設遊び	4	固定施設のいろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	- 固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○雲梯を使った運動遊び ・懸垂移行や渡り歩きなどをする事ができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや逆さの姿勢などをする事ができる。 ○平均台を使った運動遊び ・渡り歩きや跳び下りなどをする事ができる。	- それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 - 友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	- 固定施設遊びに進んで取り組んでいる。 - 順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものがないか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
器械・器具を使っの運動遊び マット遊び	5	マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、丸太転がりなど ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○背支持倒立（首倒立）、うさぎ跳び、かえるの足打ち、かえるの逆立ち、壁登り逆	・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 - 友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・マット遊びに進んで取り組んでいる。 - 順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなど

評価基準

教 科	体 育	学 年	2 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			立ち、支持での川跳び、ブリッジなど ・手や背中で体を支えている ・いろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したり、体を反らしてブリッジをしたり、友達がつくったブリッジをくぐったりすることができる。		に、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
器械・器具を使っの運動遊び 鉄棒遊び	4	・いろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、こうもり、さるなど ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○跳び上がりや跳び下り・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ○前回り下り、足抜き回り・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がり前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして遠くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
器械・器具を使っの運動遊び 跳び箱遊び	8	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。	・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し跳び	・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考	・跳び箱遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰と

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			- 片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り，支持で跳び乗り・跳び下り - 数歩の助走から両足で踏み切り，跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり，またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 - 数歩の助走から両足で踏み切り，跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり，ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び - 両手で支持してまたぎ越すことができる。	え，選んでいる。 友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり，学習カードに書いたりしている。	でも仲よくしている。 - 器械・器具の準備や片付けを，友達と一緒にしている。 - 跳び下りたりするときなどに，危ないものが無いか，近くに人がいないか，マットや跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
走・跳の運動遊び かけっこ・リレー	4	いろいろなジグザグコースを作って走ったり，友達と競走したりする。	- かけっこ・リレーの行い方がわかる。 - 真っ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 - 相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。 - 最後まで全力で走ることができる。	- ジグザグ走のコースや折り返しリレーのコースを工夫して作っている。 - ジグザグ走の感想や走り方のポイント，友達のよい走り方を書いたり，発表したりして友達に伝えている。	- かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 - 順番やきまりを守り，誰とも仲よくしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 使用する用具の準備や片付けを，友達と一緒にしている。 - 走る場所に危険物が無いか，友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動遊び ハードルリレー	4	・いろいろなコースを作り、走って跳び越したり、自分や友達の作ったコースでリレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた高さの違う障害物を走り越えることができる。 ・リレーにおけるバトンの受け渡しをスムーズに行うことができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースをいろいろな用具を使い、置き方を工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
C 走・跳の運動遊び 高跳び遊び	7	・いろいろな場を選んで、いろいろな跳び方で高く跳ぶ。	・高跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足や両足で連続して上方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って上方に跳ぶことができる。	・高跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・高跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・高跳び遊びに進んで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
水遊び	11	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	・水に潜って、息を吐いたり、目をあけたりすることが	・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでい	・水遊びに進んで取り組んでいる。

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			できる。 • 水に浮いて、立つことができる。 • けのびやばた足で進むことができる。	る。・楽しくできるバブリングやポビングの遊び方を工夫し、選んでいる。 • 友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 • スムーズに歩いたり走ったりするために、方向や速さを変えるときの手や足の使い方を見付け、友達に伝えている。	• 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。 • 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 • 準備運動や整理運動をしっかりと行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髮等）を清潔にしている。
ゲーム 宝とり鬼	6	• 走り方や攻め方を工夫して、宝取り鬼をする。	• 鬼遊びの行い方がわかる。 • 相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をおかわしたりすることができる。 • 相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 • 少人数で連携して相手（鬼）をおかわしたり、走り抜けたりすることができる。 • 逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	• 楽しく宝取り鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 • タグを取られずに、宝を取るための攻め方を話し合っている。 • 少人数で連携して相手（鬼）をおかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	• 宝取り鬼に進んで取り組んでいる。 • 順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 • 勝敗を受け入れている。 • 使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 • 危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ゲーム ボール投げゲーム	6	• ボールの投げ方や攻め方を工夫してボール投げゲームをする。	• ボール投げゲームの行い方がわかる。 • ねらったところにボールを	• 楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を	• ボール投げゲームに進んで取り組んでいる。 • 順番や規則を守り、誰とで

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			投げたり、パスを出したり、得点したりすることができる。 - ボールを捕ったり止めたりすることができる。 - ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 - ボールを操作できる位置に動くことができる。	選んでいる。 - 得点につなげるためのパスの仕方やボールの投げ方、攻め方を話し合っている。 - 友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 - ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	も仲よくしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ゲーム ボール蹴りゲーム	8	蹴り方や攻め方を工夫して、ドーナツ・サッカーをする。	- ドーナツ・サッカーの行い方がわかる。 - ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 - ボールを止めることができる。 - ボールが転がってくるコースに入ることができる。 - ボールを操作できる位置に動くことができる。	- 楽しくドーナツ・サッカーをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 - 得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合っている。 - 友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 - ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	- ドーナツ・サッカーに進んで取り組んでいる。 - 順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ゲーム ボール運びゲーム	8	走り方や攻め方を工夫してボール運び鬼をする。	- ボール運び鬼の行い方がわかる。 - 相手（鬼）にタグを取られ	楽しくボール運び鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選	- ボール運び鬼に進んで取り組んでいる。 - 順番や規則を守り、誰とで

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			ないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合っている。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	も仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
表現リズム遊び 表現遊び	5	・好きな遊園地の乗り物になりきって、全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・遊園地のいろいろな乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！〇〇だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。	・遊園地のいろいろな乗り物の特徴的な様子を捉え、表現したい乗り物の様子を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びに進んで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。
表現リズム遊び リズム遊び	5	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・ヘソ（体幹部）でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動き	・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝	・リズム遊びに進んで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片

評価基準

教科	体 育	学 年	2 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			を繰り返して即興的に踊ることができる。 ・タタロチカは、大きな掛け声をかけたり、友達の顔を見たりしながら元気に踊ることができる。	えている。	付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。